

会 議 録

審 議 会 名	令和2年度第2回杉戸町立小中学校通学区域等審議会
開 催 日 時	令和2年10月28日（水）午後3：00～3：37
開 催 場 所	杉戸小学校 体育館ミーティング室
会 議 の 議 題	1. 学校の適正規模・適正配置に関する WEB アンケート調査の実施について
公開・非公開の別	公開・非公開（公開の場合傍聴者数 3人） （非公開の場合理由）
出席委員氏名	・輪島 正視 ・加藤 實 ・大橋 淳子 ・石田 茂生 ・関本 由美 ・馬場 茂明 ・中村 知子 ・藤田 敏男 ・小川 昭男 ・木村 孝 ・菊地 信一 ・稲葉 道夫
審 議 の 概 要	別紙のとおり
備 考	第2回杉戸町立小中学校通学区域等審議会開催前に現状確認のため学校視察を行いました。 ・令和2年10月28日（水） 午後1時30分から 杉戸町立東中学校 午後2時30分から 杉戸町立杉戸小学校

令和2年度第2回杉戸町立小中学校通学区域等審議会会議録

1 日 時 令和2年10月28日(水) 午後3時00分から午後3時37分

2 場 所 杉戸小学校 体育館ミーティング室

3 出席者 ・輪島委員 ・加藤委員 ・大橋委員 ・石田委員
・関本委員 ・馬場委員 ・中村委員 ・藤田委員
・小川委員 ・木村委員 ・菊地委員 ・稲葉委員

4 傍聴人 3人

5 概要

(1) 開 会

(2) 会議録署名人の指名

石田委員、関本委員

6 議 事

1. 学校の適正規模・適正配置に関するWEBアンケート調査の実施について

<教育総務課の説明>

これからご説明いたしますアンケート調査につきましては、広く保護者や教職員等の意見をお伺いし、今後の本審議会での学校の適正規模・適正配置についての議論を充実させるために実施するものとなります。

それでは、事前にお配りいたしました資料「学校の適正規模・適正配置に関するWEBアンケート調査の実施について」をご覧くださいと思います。

まず、資料の表紙になります。アンケートの概要となります。上から順に、

1、対象者ですが、①町立小学校に通う小学3年生及び5年生、約700名

②町立中学校に通う中学2年生、約400名 ③①・②の保護者、約1,100名

④町立小中学校の教職員、約200名 ⑤町立小中学校の学校評議員・運営協議会委員、

こちらは学校ごとに地域の保護者の代表や教育関係者などに委員をお願いしているものになりますが、こちらが約50名、⑥町内の幼稚園・保育園に通う5歳児の保護者、約270名の合計2,700名を

想定しております。

次に2、アンケート方法ですが、アンケートは無記名で個人が特定できないようにし、率直なご意見をいただけるようにしたいと考えております。依

頼文につきましては、各小中学校、幼稚園、保育園経由で配付を予定しております。また、回答につきましては、原則としてWEBフォームから回答していただくことを予定しております。こちらにつきましては後ほど詳しくご説明させていただきます。

次に3、アンケート内容ですが、アンケートについては小学校と中学校でそれぞれ、いわゆる大人用と子ども用で分けまして全部で4種類を予定しています。それぞれの内容につきましては、この後ご説明させていただきます。

次に4、調査期間ですが、本日の会議で大きな修正等のご意見がなければ11月中旬から実施し、12月上旬を回答の期限としたいと考えております。

それでは、資料を1枚めくっていただき1ページ目をご覧ください。実際のアンケートの内容となります。

まず、1・2ページが小学校保護者・5歳児保護者・小学校教職員・小学校学校評議員・運営協議会委員用になります。

Q1につきましては、2重回答の防止やアンケート種別等の管理のために、お配りする依頼文に番号を記載しますのでその番号を入力していただくものです。この番号により個人が特定されることはありません。Q2につきましては、小学生にとって望ましい1学年あたりの学級数についてお聞きするものです。Q3につきましては、先ほどのQ2の回答の理由を複数選択によりお聞きするものです。Q4につきましては、小学校での望ましい1学級の児童数についてお聞きするものです。Q5につきましては、先ほどのQ4の回答の理由を複数選択によりお聞きするものです。

2ページ目をご覧ください。Q6につきましては、小学生の片道の通学時間の許容範囲についてお聞きするものです。Q7につきましては、Q6でお答えいただいた通学時間の範囲で子どもたちが通学をするために、必要だと考える配慮についてお聞きするものです。Q8につきましては、少子化が進行していく状況において学校の統廃合についての考えをお聞きするものです。Q9につきましては、学校施設の老朽化が進行していく状況を踏まえ、学校施設の建て替え・改築についての考えをお聞きするものです。Q10は、Q9の回答の自由回答も含め、アンケート全体に関する自由記入欄となります。

次に、資料の3ページ目をご覧ください。小学3・5年生用のアンケートとなります。先ほどの保護者などのアンケートをよりやさしい文書にして、回答しやすいように質問項目も1学年のクラス数と1クラスあたりの人数についての質問に絞ってお聞きするものです。

5・6ページ目は、中学生保護者、中学校教職員、中学校学校評議員用になります。小学生保護者用と基本的に内容は同じとなりますので、異なる部分のみご説明いたします。Q2の1学年あたりの学級数についての質問ですが、

一般的に中学校は小学校よりクラス数が多くなりますので、それを反映した回答の選択肢となっております。Q3 の回答の選択肢についてですが、⑨として「部活動の選択肢が増える」という項目を追加しております。Q5 についても、回答の選択肢に⑥として「部活動の選択肢が増える」という項目を追加しております。それ以外については、小学生保護者用と同じ内容となります。

次に 7 ページ目をご覧ください。中学 2 年生用のアンケートとなります。こちら Q3 のクラス数の選択肢以外は、小学 3・5 年生用のアンケートと同じ内容となります。

次に 9 ページから 14 ページにはアンケートの依頼文の案となっております。9 ページは小学校保護者用、10 ページは中学校保護者用となっております。教職員等への依頼文についてもほぼ同内容の依頼文とすることを予定しております。

9 ページ目をご覧ください。下半分の「回答にあたって」という部分になりますが、インターネットのアドレスと QR コードを掲載しておりますので、そちらから WEB フォームにアクセスしていただき回答していただくことを予定しております。スマートフォンからのアクセスも可能です。現在、テスト版として小学生保護者用の WEB フォームをすでに作成しておりますので、現時点でもアクセスしていただければテスト版をご覧くださいことができます。

なお、原則は WEB 回答となりますが、WEB 回答が難しい方には、紙ベースでの受付もする予定でおります。また、保護者や教職員、学校評議員等の方々の依頼文には、児童・生徒数の減少の推移の資料として 11 ページと 12 ページの資料を添付させていただくことを予定しております。こちらの資料は、先日の第 1 回の審議会で皆様にお配りした資料を少し加工したものになります。

最後に、13 ページ、14 ページですが、こちらは児童・生徒用の依頼文の案になります。児童・生徒用に分かりやすい言葉で作成しております。また、児童・生徒の回答については、学校にある児童・生徒用のタブレットを使って先生の指導のもと授業などの時間を利用して回答していただくことを予定しております。

資料の説明は以上となりますが、是非、様々な観点から委員の皆様のご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。以上となります。

<会長>

ありがとうございました。ただいまの説明についてご質問等のある方は、お願いいたします。

<委員>

2つ質問いたします。まず1つ目は小学3・5年生、中学2年生に絞った理由をお教えてください。2つ目は、保護者等向けのアンケートのQ3の⑦に「協調性を養う機会に恵まれる。」、それからQ5の④「協調性を養う機会に恵まれる。」とありますが、こうしたアンケートというのは曖昧な表現ではなくてより端的に確認することが必要だと思いますので、例えばQ3の⑤「様々な個性を持つ友達を触れ合える。」、⑥「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる。」とありますが、これは実は協調性のことだと思いますのでそのあたりの文面の意味合いを教えていただければと思います。

<事務局>

まず対象を小学3・5年生、中学2年生に絞った理由ですが、今回のアンケートは具体的な統廃合等についてお聞きするものではなく学校の規模等に関する一般的な考えをお聞きするものを考えておりますのでサンプル調査ということで実施をしようということになりました。そこでどの学年にしようと考えたときに小学1・2年生は今回のアンケートはまだ難しいだろうということになりまして、3年生というところから始めてひとつ飛ばして5年生、6年生は卒業してしまうということがあるのでそこを除いたということになります。中学生は間の2年生にさせていただいたということになります。

<委員>

いまのお話だと、なぜ小学4年生が入っていないのかがいまいちわからないのですが。

<事務局>

まず今回のアンケートを実施するにあたり全数調査を実施するかサンプル調査とするかということで今回は一般的な考え方をお聞きするということがサンプル調査で足りるのではないかということになり、小学3年生から始まり間を抜かした学年で実施しようということになりました。

それから2点目の質問についてですが、Q3、Q5の選択肢については、大規模校、小規模校について一般的に言われているメリット・デメリットを回答の選択肢とさせていただきました。同じような内容の選択肢があるというご指摘は、その通りだと思いますので、Q3の⑦やQ5の④の選択肢は取るという方向で検討したいと思います。

<会長>

対象学年については、説明がありましたがサンプル調査ということで、それでも約2700人が対象となりかなりの数になるので回答にはある程度の信ぴょう性があるということになるのではないかと思います。それから2つ目の協調性の選択肢に関して他の委員さんからもご意見があればお願いしたいと思います。

<委員>

Q3のほうは回答の選択肢が⑨までであるのですが、Q5は⑥までしかないのでQ3の⑦は削って、Q5の④は残すということでしょうか。

<会長>

それでは、Q3の⑦の選択肢は削ってQ5の④は残すということでしょうか。

それではそのようにするというので事務局は再度検討をお願いします。

他にご質問等はございますか。

<委員>

1ページが一番上に、小学生保護者・5歳児保護者とあるのですが、資料の表紙には対象者として小学3年と5年生の保護者となっていますが、小学生の保護者は全学年ということなのではないでしょうか。

<事務局>

ご指摘のとおり1ページ目の一番上は、正確には「小学3年生及び5年生保護者」となりますが、タイトルが長くなってしまうので省かせていただきました。あくまで対象者は小学3年生及び5年生の保護者となります。

<会長>

他にご質問等はございますか。

ないようであれば私からも1点確認させていただきます。先ほどの説明で紙ベースでの回答も可という説明がありましたが、これは何らかの方法で対象者にはお知らせが行くのでしょうか。

<事務局>

資料の9ページをご覧ください。下半分の「回答にあたって」という箇所
の3つ目の○に紙での回答も受ける旨の説明文を掲載しています。アンケート

トを実施する際には、依頼文とアンケート内容も印刷した紙を一緒にお配りしますのでその紙に丸をしていただいて学校等に提出していただくようなかたちを考えております。ただ原則としてはWEBでの回答としたいので個別の相談があった際にはそのように回答するというようにしたいと考えております。

<会長>

そうすると紙での回答が多い場合には、学校の負担が大きいような感じがするのですが。

<委員>

手間暇を惜しむか回答率を上げるかのどちらかだと思います。回答率を上げるためには、色々な方法で回答を引き出すということを考えてあげないと回答は出てこないと思います。回答率を上げるためには手間暇を惜しまず行うほうが良いと思います。

<会長>

学校経由ということに対してはどうでしょうか。石田委員さん、関本委員さん何かご意見等はございますか。

<委員>

学校で2重回答のチェックなどの作業を行うとなると対応は難しいのではないかと思います。

<事務局>

現在想定しているのは、番号の記載してある依頼文とアンケート内容を印刷した紙をホチキス留めして配付することを想定しておりますので、紙での回答の場合はその紙に丸をつけてもらいホチキス留めのまま回収していただくことを考えております。

<委員>

そうなるともらった紙に丸をつけて学校に提出したほうが楽だという方が多いのかなということが予想されます。

<会長>

ここはきちんと決めておいたほうが良いと思うのですが、依頼文の3つ目

の○は「紙での回答も受付しますので、お問い合わせ先までご連絡ください」
では事務局が煩雑になりますか。

<事務局>

そのようなかたちで紙の預かりを学校さんにお問い合わせできるのであれば事務局としては問題ありません。

<会長>

それでは、そのようなかたちでお願いします。

他にご質問等はございますか。

特にないようですので、以上をもちまして本日の議事を終了させていただきます。

7 その他

次回の会議日程について。

8 閉 会